

東京から山梨に転勤して2カ月半。ペーパードライバーなので、公共交通機関や徒歩での移動が多い。甲府駅周辺に住んでいることもあるが、不便はほとんど感じない。

第一に、時刻をよく調べて電車やバスを乗り継ぎ、多少歩けば、県内の知られた場所にはお

### 展望台

## 車のない転勤族からみた山梨県

三木 徹

た場所にはおむねたどり着ける。本数が少ないので待ち時間が長いし、夜遅い時間帯にバスがないことは要注意だが、慣れの問題だ。

第二に、交通系ICカードが使える。電車やバスにスムーズに乗れるし、バス

運賃は割引になる。ただ、バス運賃を現金で払う乗客も少なくない。

第三に、通勤時間が断然短い。東京勤務時は、バスと電車で片道1時間半。山梨では、徒歩で片道20分。車で通勤すればもっと短時間

か。加齢により運転が難しくなる人も増える。自動運転技術やMaas(Mobility as a Service) (モビリティ・アズ・ア・サービス) による問題解決が期待されるが、電車やバスを

有車両数(75万7546台)のうち対人賠償の任意保険(自動車共済、自動車保険)の普及率(18年3月末)が84.1%と全国で4番目に低く(全国平均は88.0%)、交通事故による人口10万人当たりの年間死者数(17年)が4.5人と全国平均(2.9人)を上回っている(損害保険料率算出機構「2018年度(17年度統計) 自動車保険の概況」。もう少し公共交通機関を利用してはどうかと思うのは、私だけだろうか。

間で楽だと思うが、健康のために歩いている。睡眠時間を十分取れるようになり、仕事の疲れを土日に持ち越すこともなくなった。

ちなみに、山梨県は、保

(日銀甲府支店長)

というところで、車なしでも快適に過ごしている。ただ、電車・バスの本数や路線が今より減ったらどう



みき・とおるさん 長野県出身。1994年に日銀に入行。システム情報局業務システム開発課長や業務局総務課長などを歴任。6月から現職。